

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

清風園
60周年

ロビーにて町田事業所
職員とボランティア
記念写真



REPORT

Vol. **42**
2024 SUMMER

「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」
夜間の匿名相談「妊娠したかもSOS」を開始しました。
清風園が60周年を迎えました。 賛育会病院:外来棟西館の解体に向けて



社会福祉法人
賛育会



「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」

特集
REPORT

夜間の匿名相談「妊娠したかもSOS」を開始しました。 ～声なき声に寄り添う～

この活動を必要とする方へつないでいくため、私たちは相談員とともに
一步一步、丁寧にあゆみを進めていきます。

賛育会は、7月17日より、週3日（月・水・金 16:00-21:00）
の匿名相談「妊娠したかもSOS」を始めました。目的は、
従来の日中の賛育会病院の母子支援相談（相談内容は、
DV・虐待・要保護・特定妊婦等多様）に加えて、匿名の
「SOS」を受け止めることです。予期せぬ妊娠や孤立出産の
リスクを抱え、誰にも知られたくない妊婦や生活困窮の問題
を抱える人たちの声を聴き、寄り添う。「内密出産」や「匿名
の預け入れ」が最終の選択にならないことを願いつつ。
webサイトの「Q&A」や「お困りごと窓口別情報」では、具体的
なお悩みやお困りごとに関する情報を提供しています。

「全国妊娠SOSネットワーク」は、「妊娠SOS相談」の目的
について、「1）母子を迅速かつ確実な支援に繋ぐ。2）母子
を取り巻く深刻な社会問題を予防する。3）孤立し、悩む女性
を安心と自尊心の回復へ導く」という3点を掲げています。

どうすれば「まだ見ぬ相談者」にその声を届けることが
できるのか。様々な事情があり、人と接触することもなく、
孤立無援でずっとスマホ画面と向き合っている人かもしれま
せん。相談員（助産師・看護師・心理専門職）は、「私たち
は、あなたからのコールのために、今ここにいますよ」と
電話の前で待っています。その思いは、「祈り」のようにも

思えます。

相談員の声（抜粋）をご紹介します。

「私は、この賛育会病院から、助産師としてスタートしま
した。そして、今またこの賛育会病院に戻ってきました。賛
育会病院は母子保健から始まった病院であり、相談員を
やるとしたら賛育会病院しかない、使命のようなものを
感じました。研修を通して、私たちが知らない世界や、見て
見ぬふりをして置き去りにされている問題や存在の人たち
がいることを知りました。（中略）この活動が、社会を変えて
いける原動力になればと、願っています」「一人でも多くの
赤ちゃんの命を守り、全ての女性が幸せになれるように」
「私たちと話すことで心が落ち着き、少しでも状況が良い方
向に進んで行かれるように」「相談者の方のお気持ちに、
寄り添っていきたい」「webサイトが充実しているので、
困っている人はもちろん、多くの女性に是非見てもらいた
い」etc。

全国各地（57ヵ所）で妊娠SOS相談に取り組む人たちが
います。人知れず、SOSコールを待ち続ける、母子のための
「いのちのセーフティネット」は救いであり、そこに一筋の
希望があります。

（赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長 大江 浩）



妊娠したかもSOS 賛育会

妊娠したかも…どうしよう…
ひとりで悩まないでください。一緒に考えていきましょう。



ご相談は、匿名でもニックネームでも
大丈夫です。あなたの不安に寄り添い、
どうしたら良いか必要な方法を一緒に考えます。

秘密は
守ります

相談は
無料です

匿名で
相談できます



安心してご相談ください。
経験豊富な相談員が対応します。

お電話でのご相談

TEL 03-4400-4527

受付日時：月・水・金 16:00～21:00

*年末年始・祝日はお休みです。

WEBサイトはこちら





清風園が60周年を迎えました。

(東京都町田市)

1964年7月20日、町田市で最初の特別養護老人ホーム「清風園」が誕生いたしました。当時、人口に占める高齢化率は6.2%（平均年齢男性67.6歳、女性72.9歳）でした。ここから、約60年近くの歳月を経て、2023年の高齢化率は29.1%（平均年齢男性81.1歳、女性87.1歳）となり、この時代の中を清風園は高齢者福祉のパイオニアとして歩んで来ました。

当時、老人福祉法が成立する前の1957年より清風園設立への準備が始まっており、家庭における高齢者介護は困難であるとのニーズに応え、現在の賛育会クレドにもある「私たちは、一人ひとりを想い、地域とつながり、ともに生きる」ことを先駆的に進め、町田市金井の一面に広がる麦畑に「清風園」が堂々と設立したとご近所の方々からの話をよく耳にします。

近年では2019年度後半に新型コロナウイルス感染症の拡大により、2016年から取り組んでいた会食式の子ども食堂の継続を、2020年3月に断念しました。しかし近隣の金井中学校や学校運営協議会委員との協働、ご協力のもと金井中学校駐車場をお借りして、フードワゴン（お弁当販売）へ切り替え再開となりました。また、地域向けの発信として、フードドライブ（家庭で余っている食品を集め、必要としている地域のフードバンクへ寄付する活動）を開催するなど、形を変えながら地域とつながっております。このことは多くの方々のご支援やご寄付があるからこそと思います。先にも述べました賛育会クレドにはもうひとつ、「私たちはお互いを尊重し、よろこびをもって仕え、支え合います。」とありますが、まさにこの言葉通りの思いが詰まっているものと考えています。

現在、清風園の玄関には「祝・清風園ありがとうの60周年、感謝を込めて」の横断幕を掲げています。60周年記念のスローガンは「これからも前へ」です。

私たちは、これまでの良き伝統を活かしながら、ご利用者やご家族、そして地域の皆さまから信頼される施設をこれからも目指してまいります。

(清風園施設長 木口 圭子)



ご利用者が作成した、60周年のお祝いのロビーの飾り付け

イベント
音楽の集い



開設した1964年の曲、イッツアスモールワールド・見上げてごらん夜の星をなど職員も参加し演奏しました

社会福祉法人地の星さんの、60周年記念手作りクッキー



SAN-IKUKAI HOSPITAL

外来棟西館の解体に向けて

外来棟東館の改修工事が終了、賛育会病院事務棟が完成しました。

昨年7月に着工した「賛育会病院事務棟」が完成し、7階建の建物の中には病院や法人の事務機能が移転されました。また、昨年冬より着工した外来棟東館の改修工事も無事終了。外来棟西館にあった検査科や薬局など病院の診療機能が移転しています。

賛育会病院事務棟、外来棟東館工事が終了し、一足先に完成していた玄関棟も含め、これでいよいよ築98年の外来棟西館の解体準備が整いました。解体前には長年お世話になった地域の皆さまにもご参加いただけるイベントも開催する予定です。解体は9月中旬より開始して来年の6月頃には解体が完了する予定です。

今後も無事に解体が終了するまで工事を進めていきます。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



賛育会病院事務棟



改修後の外来棟東館1階



トピックス：本号より、San-iku通信との合併版となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

賛育会後援会新会長に小堀洋志が就任しました。

これまで賛育会後援会の会長を務めてまいりました木村 庸五が2024年7月23日をもって退任し、小堀 洋志が新会長として就任いたしました。



就任のごあいさつ

社会福祉法人賛育会 後援会会長 小堀 洋志

木村さんの後を引き継いで賛育会後援会会長となりました小堀です。6月までは、2014年からの10年間、賛育会の理事長として賛育会の運営、活動に関わらせていただきました。その間は、後援会の皆さんからの温かいご支援をいただきましたことをお礼申し上げます。

スポーツ選手は、強い孤独感やプレッシャーを受けつつ戦いに向かっています。そんな中で、観客やファンや応援者の大きな声援、励ましが実力以上の力を発揮させるのだと言います。賛育会の活動にも皆さんからの様々な支援、応援が必要なのです。賛育会は、高齢者福祉施設の運営、医療活動、そして保育の分野へと幅広い活動を続けてきております。それぞれの事業所で独自の発想でユニークな取り組みを行っており、それらの活動にもぜひ皆さんからの支援、励ましをいただきたいと思います。加えて、これからは非常に大きな取り組みが始まります。一つは、賛育会病院の建て替え、医療と福祉が一体となった新施設の建設です。そして、“赤ちゃんの命を守るプロジェクト”です。ともに大事業ですし、多くの努力と資金が必要な、長期にわたる取り組みです。

10月には恒例となりましたチャリティーコンサートが墨田のトリフォニーホールで開催されます。是非、足を運んでいただき共に美しい音楽に耳を傾けていただければと思います。

これからも、多くの方に積極的に関わっていただき大きなエールを送り続けていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



退任のごあいさつ

木村 庸五

小堀洋志前理事長が新後援会長に就任され、私は5年間つとめた会長職を退任いたしました。私は、理事、評議員、後援会長を歴任し約30年間にわたり賛育会に関わってきました。今後は一後援会員として賛育会を応援していく所存です。

私の会長在任中、豊野における浸水被害、コロナ対応、コロナ禍でのコンサートの中止など、賛育会と後援会にとっては、多くの出来事があり困難に遭遇しました。また、病棟建て替えという長年の課題も抱えていました。

賛育会は、創立以来、さまざまな困難を乗り越えて今日に至っており、人の思いだけでなく、より高く大きな存在によって導かれつつ自らを励まし互いに励まし合いつつ進んできました。賛育会が、人の命に係わる大事な事業を推進する組織として、細やかな心遣いを持って問題に立ち向かう精神を受け継ぎ、既定の福祉の枠を越えてでも必要に応じ手を差し伸べるため新たな活動も担っていくには、支援者による支えが不可欠です。また従来からの活動をより充実させるためにも、後援会活動は重要です。これからますます支援の輪が広がっていくことを祈念しています。

私の会長在任中の皆さまのご協力に心から感謝いたします。



2023年度 寄付金・募金等報告



総額23,862,410円にのぼるご支援に感謝いたします

2023年度に、賛育会に寄せられました寄付金や募金は、延べ874名（個人と団体）の皆さまからご協力いただき、総額23,862,410円となりました。感謝申し上げます。
詳細は寄付金報告をご覧ください。

	延件数	一般寄付	延件数	設備寄付他	延件数	合計
清風園	62	4,111,565			62	64,111,565
第二清風園	37	769,087			37	769,087
東京清風園	24	1,484,101			24	1,484,101
豊野清風園	9	78,200			9	78,200
東海清風園	26	595,500			26	595,500
相良清風園	8	930,000			8	930,000
マイホーム新川	2	50,000			2	50,000
はなみずきホーム	6	92,020			6	92,020
たちばなホーム	16	201,000			16	201,000
さんいくの家あづま	2	130,000			2	130,000
さんいくハイツ立花	1	30,000			1	30,000
さんいく保育園清澄白河	1	1,000,000			1	1,000,000
賛育会病院	57	1,332,914	5	1,540,000	62	2,872,914
老健ゆたかの	4	40,000			4	40,000
介護医療院とよの	3	109,188			3	109,188
法人事務局	417	5,840,431	194	5,528,404	611	11,368,835
	675	¥16,794,006	199	¥7,068,404	874	¥23,862,410

尚、これに伴う支出は、機関紙や寄付リーフレット等の印刷費で総額535,590円でした。

機関紙「さんいく」発行

	印刷部数	印刷費
さんいく107号	5,450部	¥176,000
さんいく108号	5,350部	¥183,590
合計		¥359,590

寄付リーフレット作成

	印刷部数	印刷費
2023.11月	3,300部	¥95,700
2024.2月	2,450部	¥80,300
合計		¥176,000

活動経費合計

¥535,590

10月4日にすみだトリフォニーホールにおいて、新日本フィルハーモニー交響楽団、指揮者の和田一樹さん、オルガニストの湊恵子さん、司会に岩崎瑞穂さんをお招きしてチャリティーコンサートを開催し、1,057名の来場者がありました。

チャリティーコンサート収支

収入	チケット販売	¥3,384,000
	寄付金(企業)	¥4,360,000
	寄付金(個人)	¥460,000
	募金等	¥409,404
	収入計	¥8,613,404
支出	チケット販売経費 (印刷費、通信費、税金等)	¥4,484,592
	経費 (会場費、印刷費、手数料等)	¥661,387
	支出計	¥5,145,979
収益金		¥3,467,425

2023年度寄付者名簿 ～2023年4月1日～2024年3月31日～

皆さまのお支えに心から感謝いたします

複数回ご寄付頂いた方も表示は一度とさせていただきます。(

【個人】

阿形 操	栗山 政子	柴田 洋子	是永 壽生	中根 卓雄	武田 すぎ子
阿藤 光英	栗田 和好	柴田 和子	清水 弘之	石井 嘉一郎	徳竹 美和子
安藤 美智子	形岡 暁生	柴田 禮三	清水 孜	石阪 昌司	富井 幸男
伊藤 多恵子	月本 昭男	射場 敏明	清水 利郎	石田 悟	武藤 かず子
井出 千束	服部 万里子	車田 克彦	生井 知三	赤荻 佐和	武藤 貴代子
井筒 洋一	原 研治	住田 学	松本 京子	川原 一聡	服部 秀文
稲本 佑子	原口 美咲	小山 哲司	松木 健三	中山 仰	福田 徳子
井之上 芳雄	原澤 ますみ	小山 和子	松澤 うめ子	中川 幸雄	北 彰
岩森 毅	古賀 節彦	小山 榮次郎	生川 鉄兵	中村 基信	福岡 正淑
宇山 和子	古山 武史	小川 圭一	西原 良信	中村 隆	堀家 世司
雨宮 ふぢ子	古谷 とき子	小川 美奈	西原 文隆	中村 和郎	堀内 信雄
雨宮 武士	古田 和彦	小池 幸次	西山 恒八	中島 誠	本田 真也
臼井 美弥子	故 小林 和子	小池 宏	西田 千佐子	中平 多恵子	本目 武彦
遠藤 仙子	工藤 亘	小野 喜久子	野尻 幸起子	田中 邦子	木村 庸五
遠藤 美恵	江口 洋一郎	三浦 正恵	青本 健作	渡辺 誠二	木村 詢子
横井 貴広	高橋 雅二	三澤 キミ	青木 譲	島田 恒	矢沢 栄子
横地 富夫	今村 瑞枝	小林 さち子	青木 直典	島田 宗洋	柳沼 恵一
恩田 勝	今村 清子	小林 明彦	石引 麻里子	島田 茂	柳澤 健治
加藤 学	久保田 きみ子	小林 利紀子	川名 とし子	島根 慶一	横田 和彦
加納 貞彦	齋藤 たけ	小林 久祥	川邑 恵子	東海林 吉良	落合 美英
河原崎 利明	齋藤 敏之	松井 和榮	浅野 哲也	湯川 寿々子	林 萬吉
河原崎 正好	齋藤 實	松岡 裕子	前田 太	橋本 徹	鈴木 茂
河野 通久	佐々木 勝也	松田 雅子	倉持 登志子	藤永 敬士	鈴木 たか子
花本 千代子	佐藤 正一	松田 実	相川 雅春	藤本 博己	鈴木 守
梶村 慎吾	佐藤 奈美子	松田 生都子	増田 喜代子	藤野 勝美	鈴木 みづえ
鎌田 仁美	佐藤 茂美	松尾 光章	増田 裕貴	藤澤 三郎	鈴木 正広
関口 光	佐藤 陽子	植田 一穂	村松 武司	徳本 正子	廣瀬 京子
関根 義夫	宰田 治子	植田 敏次	村上 俊一	馬場 保	三枝 悦子
岩渕 節子	細谷 精一	新井 悟	村上 由美子	萩ノ谷 克範	澤戸 晃
鬼塚 弘通	細田 牧子	新里 好子	大関 俊弘	柏木 文代	澤田 敦子
吉川 敦	坂根 慶子	森 治雄	大関 満佐江	薄井 佳代	濱田 邦夫
吉田 恵子	三浦 昭彦	森 正孝	大久保 忠旦	八子 昌子	濱名 雅一
吉野 憲	山口 昭	森 良雄	大橋 祐治	八島 茂	齊藤 なをみ
吉野 勝三郎	山崎 友梨	森山 薫	大谷 直子	八木 はるみ	高崎 良子
久松 二士夫	山田 公平	森重 勝	大塚 章明	八木 義人	高本 眞一
久保 マサ子	山辺 和子	森田 綾子	大塚 由紀子	伴 道子	高林 眞理
宮井 昭信	山本 雅美	森田 昌孝	大島 誠	飯田 昭子	福島 敬子
宮原 薫	山崎 暁子	真部 光子	大内 実佳	富岡 幸治	平野 昭宏
宮島 一男	市川 祐三	神前 亘子	大内 康平	長島 章	並木 信一
宮澤 義雄	寺尾 尚	神谷 幸男	大和田 由紀	鳥羽 ノリ子	片岡 愛
牛島 和夫	猿渡 都智子	須藤 たかえ	谷口 博大	塚田 重信	片岡 大造
金子 義晴	篠原 栄子	杉本 理恵	竹下 弘子	塚本 洋子	保科 弘毅
金田 恵美子	柴田 ひふみ	菅原 美穂子	竹村 哲治	田中 昇次	
金田 靖弘	柴田 光昭	瀬山 俊一	竹中 眞美子	武知 麟次郎	

敬称略・順不同)

【教会関係】

日本キリスト教会 横浜海岸教会	日本基督教団 鶴川北教会	日本基督教団 南遠教会
聖路加国際大学 聖ルカ礼拝堂	日本基督教団 玉川教会	日本基督教団 下谷教会
日本聖公会 聖アンデレ教会	日本基督教団 軽井沢南教会	日本基督教団 亀戸教会
日本基督教団 東京池袋教会	日本基督教団 信濃村教会	日本基督教団 四谷新生教会
日本基督教団 弓町本郷教会	日本基督教団 信州中野教会	日本基督教団 三崎町教会 みさき基金

【グループ・団体・法人関係】

(株)ヤマシタ	家具センター中山	錦糸町クボタクリニック
(株)教文館	公益財団法人熊本YMCA	太平三丁目町会 金澤哲治
(株)アドバンス中部サービス	国立聖書研究会	横川三丁目町会婦人部
(株)五明	学校法人玉川学園	横川五丁目東部町会
(株)明治	恵泉女学園中学・高等学校	立花南町会
原口塗装(株)	明治学院高等学校	牧之原(相良)区
東海機材(株)	青山学院初等部	賛育会病院職員有志
本目商事(株)	尚絅学院大学 宗教部	第二清風園職員有志
(有)山三商事	東洋英和女学院 中等部 宗教委員会	東海清風園職員有志
(有)大正胞衣社	学校法人日本聾話学校	
(有)ながしま茶園	学校法人榎本学園 町田福祉保育専門学校	
PNJ事業協同組合	公益財団法人東京大学学生キリスト教青年会	

匿名希望 117件

賛育会後援会 総会報告

後援会長交代報告と、賛育会の新たなプロジェクト・活動への挑戦に対し、
後援会活動の充実による、さらなる賛育会への支援の輪の拡大を目指すことが確認されました。

日時:2024年7月23日(火)13:30~15:00

場所:東京清風園 地域交流スペース及びTV会議(Zoom)

内容:1. 2024年度の後援会運営体制について

2. 2023年度活動報告及び寄付金・経費報告 3. 法人全般報告

4. 2024年度事業計画 5. 今後の支援事業やプロジェクトについて



後援会規約に従い、次期後援会長に小堀氏、副会長に垣内氏が指名された旨報告がありました。また、「新病院・新施設構想プロジェクト」「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」「地域支援活動の展開」など新たな挑戦に対し、後援会活動を充実させ、支援の輪をさらに広げていくことが確認されました。

～後援会運営体制(2024年7月23日より)～

会 長:小堀洋志氏

副会長:垣内史堂氏

理 事:月本昭男氏

委 員:西原良信氏、柴田光昭氏、永井都也子氏、

遠藤仙子氏、小林利紀子氏、藤田寿彦氏、

山本雅美氏、繁田正人氏、吉野久江氏



平和の メッセージ



賛育会は地域の教会の祈りと奉仕にも支えられています。日本キリスト教団掛川教会は東海事業所を通して賛育会を支えてくださっています。同教会の塚本洋子牧師に平和のメッセージをいただきました。

彼らは剣^{つるぎ}を打ち直して鋤^{すき}とし 槍^{やり}を打ち直して鎌^{かま}とする。 国は国に向かって剣^{つるぎ}を上げず もはや戦うことを学ばない。
イザヤ書2章4節より

もはや戦うことを学ばない 日本キリスト教団 掛川教会 牧師 塚本洋子

8月になると、「平和月間」として第3週の礼拝後、信仰の大先輩に「3分間戦争体験」スピーチをお願いしています。生の体験に触れ、無辜(むこ)の犠牲を再び現実にはならないと噛みしめます。そして「もはや戦うことを学ばない」平和の道を歩む為に、持続可能な平和を学ぶ為に読書会を持ちます。始まりに、イザヤ書2章4～5節とマタイによる福音書5章9節「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」を朗読します。

イザヤ書2章4節はニューヨークの国際連合本部の広場「イザヤの壁」のモニュメントに刻まれているようです。貴重な鉄を戦争用の「剣(つるぎ)」「槍(やり)」ではなく、日用品である「鋤(すき)」「鎌(かま)」に用いる。「国は国に向かって剣を上げない、日々の暮らしに比重を移して生

きる呼びかけです。聖書における「平和」は、あらゆる面において満ち足りている平安な状態、幸福であること。この平和は御子(みこ)イエス・キリストの十字架と復活を通じて開かれた和解の賜物。従って「主の平和がありますように」と祈る挨拶の言葉となり、日々の暮らしや手紙のやり取りにおいて交わします。

戦後79年を数えた2024年の夏、今年も戦争の持つ恐ろしさと悲惨な事実を知らされました。平和を望む心が新しく、より強くなりました。世界の恒久平和を共に祈る者として、心を合わせて地上に「もはや戦うことを学ばない」主の平和を実現する日常に、この幸いに生きて参りましょう。



INFORMATION

～ともに生きる音楽会～
賛育会 チャリティーコンサート 2024



新日本フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)





和田 一樹 (指揮)
大谷 康子 (ヴァイオリン)
竹佐古 真希 (オルガン)

賛育会チャリティーコンサート開催のお知らせ

賛育会チャリティーコンサートは、賛育会が地域での新たな働きを担うため、賛育会病院の建て替えを進めることを目的にして2008年より始めました。皆さまのお支えにより、建て替え計画は墨田区太平地区と立花地区の医療と福祉のプロジェクトへと発展し、その第一歩として外来棟西館の解体がいよいよ始まります。今年のコンサートのテーマは「世界のダンス(民族の踊り)」です。世界の民族音楽を通じて、心安らぐひと時をお過ごしいただければ幸いです。コンサートの益金は、すべて賛育会病院の建て替えプロジェクトのために使わせていただきます。

● 賛育会チャリティーコンサート2024～ともに生きる音楽会～

日時: 2024年10月18日(金)18時開場/19時開演
場所: すみだトリフォニーホール 大ホール(錦糸町駅前)
出演: 大谷 康子(ヴァイオリン)、竹佐古 真希(オルガン)、和田 一樹(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

コンサート詳細はWEBをご覧ください
賛育会後援会 チャリティーコンサート

QRコードをスキャンまたは賛育会後援会で検索!



賛育会へのご支援のお願い

賛育会では、いのちの授業や子ども食堂、高齢者の居場所づくりなど、60を超える様々な地域支援活動を行っています。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

詳しくはこちらをご覧ください

賛育会ホームページ

「賛育会へのご支援のお願い」

(<https://www.san-ikukai.or.jp/participate/>)



主要人事

〈退職〉

2024年6月30日付

古屋 節子 法人事務局ミッションサポート部赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト副事務局長兼福祉施設看護業務担当部長(依願退職)

〈登用〉

2024年8月1日付

堀家 世司 法人事務局 新病院・新施設開設準備室副室長兼務とする
三好 健太郎 法人事務局 新病院・新施設開設準備室副室長兼務とする

San-iku 通信

社会福祉法人 賛育会の
広報誌「さんいくつうしん」

San-iku通信 Vol.42 2024年 夏号

編集: 賛育会法人事務局 発行人: 中村 基信 発行所: 社会福祉法人 賛育会

賛育会後援会だより **さんいく**

賛育会後援会だより さんいく 2024年8月号・第109号

編集・発行人: 小堀 洋志

印刷: (有) エースプリント (20240823-6700)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL: 03-3622-7614



社会福祉法人

賛育会